

ファーストラン!
KSKQ FIRST RUN!
—多くの仲間とともに現在を変え未来を創造するために—

NO.106
2018.7



「アシーネ」 ^{ひこ}比護まや さん

特集 みんなの「はたらく」

就労支援事業所 ちえの輪 池田
^{いくぼ}井窪 ^{たかし}駿さん

編集：特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

<http://www.suisinkyo.com/>



■ CONTENTS ■

- 3 みんなの「はたらく」**
就労支援事業所 ちえの輪 池田
(就労継続支援 A 型) : 井窪 駿さん
- 17 地域交流センター「さんかくひろば」イベント**
「第 2 回わくわく体験イベント」開催！
- 19 第 7 回「ミント・アンサンブル 展示会」開催！**
- 20 重度訪問介護従業者養成研修講座 募集案内**
- 22 パンのみみ**
- 23 カエルのうた**
- 24 会員募集**

ファーストラン！ 電子版もあります

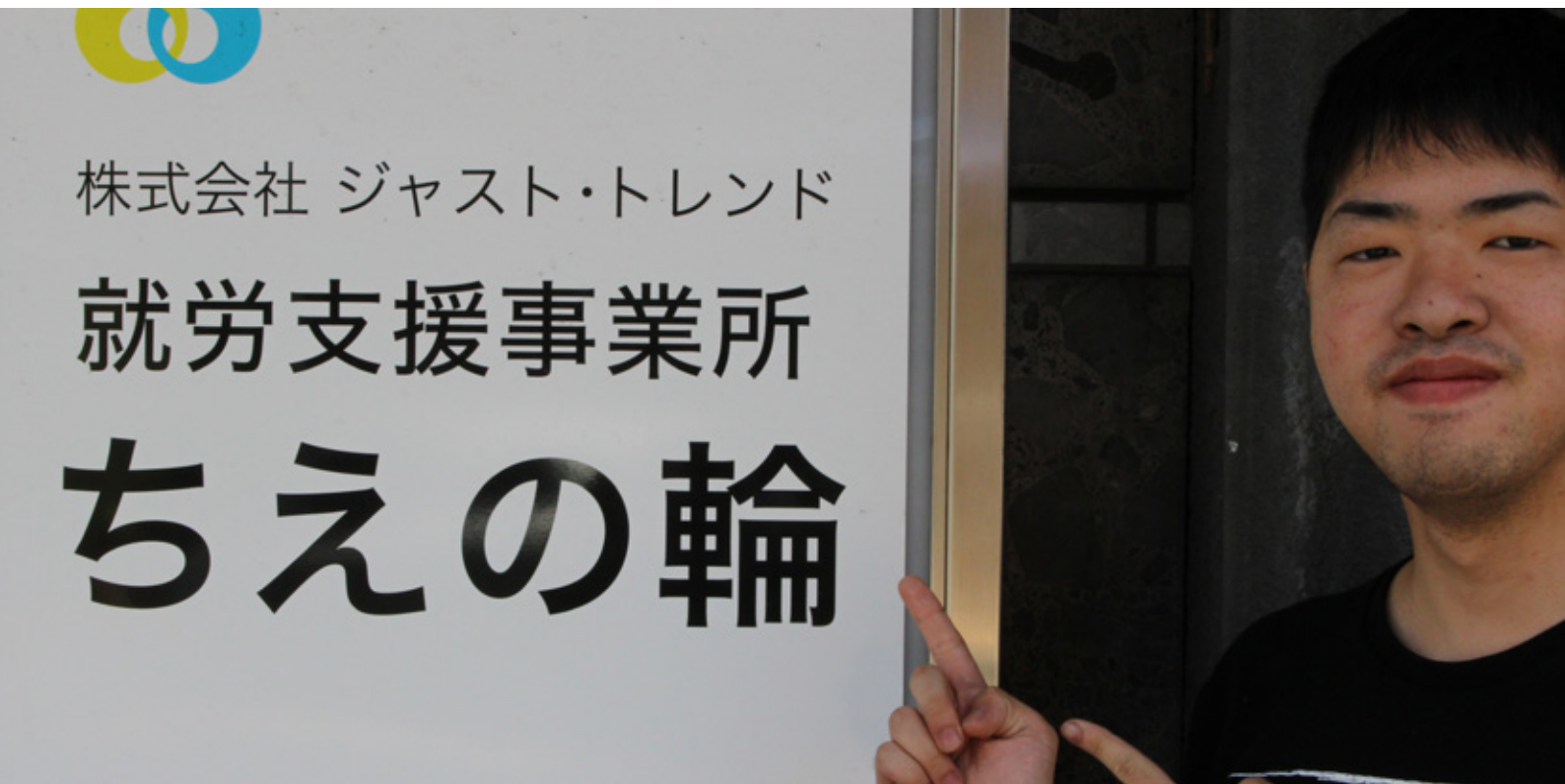
当法人公式 Web サイト内のページにアクセスしてください。フルカラー PDF 形式でご覧いただけます。ルビなし版も。

<http://www.suisinkyo.com/first-run>

みんなの「はたらく」

就労支援事業所 ちえの輪 池田

(就労継続支援 A 型)：井窪 駿さん



はじめに

箕面のグループホームで生活している井窪さんは就労継続支援 A 型事業所のちえの輪池田に通っています。以前に働いていた職場で欠勤が続いていた井窪さんでしたが、今のちえの輪池田に通うようになってから、仕事の意欲も出て責任感も持つようになりました。そんな彼の変わりようを目の当たりにしていた私は、ちえの輪さんがどういうところなのか、井窪さんの気持ちはどう変わったのか、インタビューしてみることにしました。

Interview ①

(井窪駿さん、支援員 たいな かかずこ 田井中和子さん)

「仕事が楽しい！」

菊池：以前の仕事で行き詰り出勤できなかった時に、相談支援員や周囲の人に相談して 2 年ほど前にちえの輪池田に転職しましたが、井窪さんから見てちえの輪池田の最初の印象はどうでした？



作業中の井窪さん(右)と田井中さん(左)

井窪：環境が良かったです。

菊池：具体的には？

井窪：具体的に言うと…遠慮とかせずに普通に環境に馴染めた。

菊池：それは、人に馴染めたっていうのがあるのかな？それとも、仕事内容に馴染めたっていうのかな？

井窪：両方。箕面障害者雇用支援センター（就労移行支援事業所）で納品の作業をしていた経験が、ちえの輪の納品作業で活かした。

菊池：それで作業に入りやすかったっていうのがあったんだ。

井窪：人間関係は、みんな優しくかったから前の職場よりはガチガチにならずにできた。

菊池：前の職場では、そんな緊張していたの？

井窪：今みたいな和やかな空気ではなかった。

菊池：今の仕事が充実していて、色んな事に挑戦して前向きになっているって聞いていたけど、そのように気持ちに変化していったのは？

井窪：今はグループホームに住んでいるから、仕事やっていかないと家賃が払えないっていうのもあります。

菊池：現実的っ！（笑）

田井中：大事なことやね！

菊池：働かないと生活できないってことやね。

井窪：うん、生活できない。

菊池：そこが大きい部分？

井窪：はい！

菊池：今のちえの輪さんのお給料で、生活はできているのかな？

井窪：はい、できています。

菊池：働いた分、生活に困らないお給料が入るからヤル気が出るってところはある？

井窪：それもあるけど、仕事楽しい。

菊池：純粹に仕事自体が楽しい？

井窪：楽しい！

「得意な作業とこだわり」

菊池：井窪さんの中で、これは得意ですっていう作業はありますか？

井窪：得意な作業（笑）。昔は入浴剤の作業でしていた時のリボン結び。今はキャラメル折り！

菊池：キャラメル折り？

田井中：キャラメル折りっていうのはさっきやっていたタオルの最終仕上げですね。タオルを包装しているセロファンをきっちり折って綺麗に四角形になるようにするんですけど、井窪さんはそれに全てを注ぎ込んでいるみたいで（笑）。

井窪：ははは（爆笑）！

菊池：そうなんや（笑）！

田井中：慎重になりすぎて、私に「はい、遅いっ！」って怒られるもんね（笑）。

菊池：そんなにきっちりなんですか？

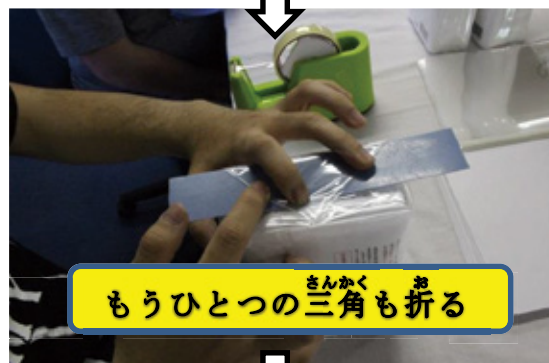
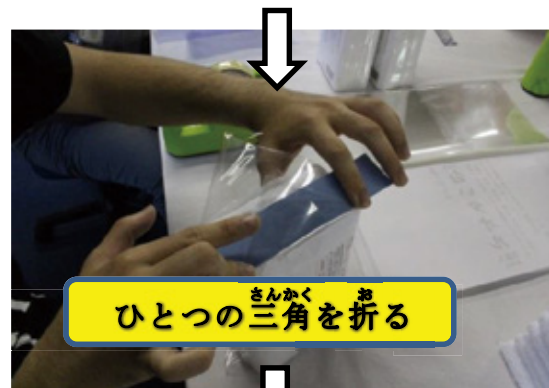
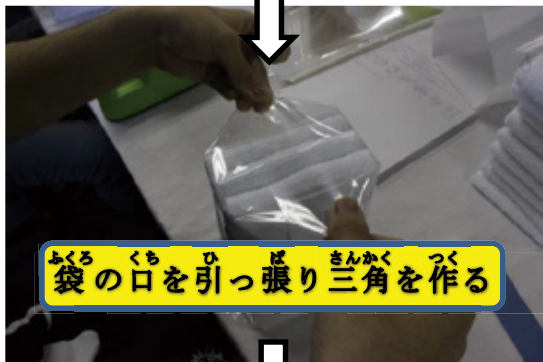
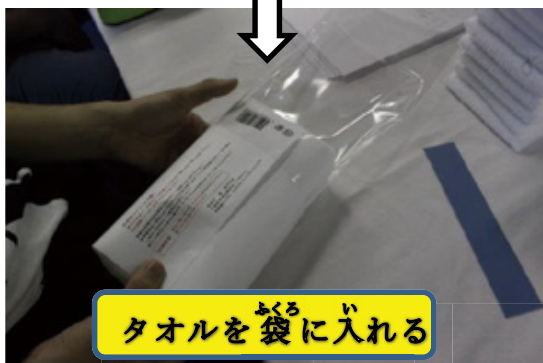
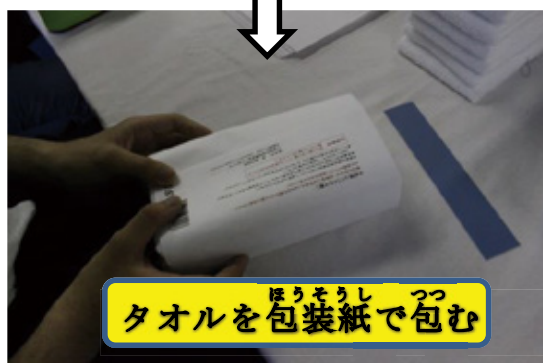
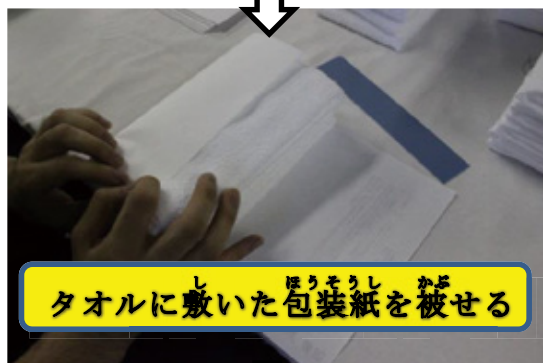
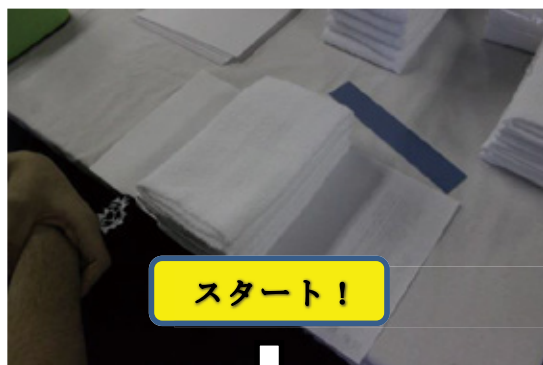
田井中：めっちゃ、きっちりやりたいんですよ。だから、掴めれば早いんですけど自分の納得いくまでに仕上げるまでが時間がかかるので。「できてるから」っていうんですけど（笑）。

井窪：そうそうそう（笑）。

田井中：そこまで慎重にならなくていいよってぐらい、すごく慎重に拘りをもってされていますね。

菊池：さっき、撮影していた時も「やり直し」って言ってやっていましたね。見た感じでできていたけど…。

ずかい
図解
お
てじゅん
キャラメル折りの手順!!



井窪：できているけど、あれはちょっと…。

田井中：納得いかないんですよ。

井窪：納得いかんというか、あれはちょっと流石に汚かったから！

一同：(笑) ！！

田井中：それが「納品が今日やで急いで！」っていう時でもそうだから！

井窪：(爆笑) ！！

菊池：職人なんだ (笑) ！

田井中：その時にはさすがに私も怒って (笑) ！「はい、私が入れるからやって！」みたいに、だ〜っとやってもらっていますけど。

菊池：でも、そこって難しいところですね。拘りたいけれど期限もあるしってところで。

田井中：そう。その折り返いをつけてもらわないといけないので。「それが仕事やねんで」っていうのは言っています。

菊池：拘らないで適当にやるよりは拘るほうが良いけれどね。どこまで妥協できるか。

田井中：そこですね。無茶を言っているのはこっちも分かった上で言っているんですけど。

菊池：キャラメル折りをやっている人によっては洗濯バサミを使ったりとかしていましたね。

田井中：そうですね、色んなグッズを使いながら。最終慣れてきたら何も使わずにできるのが一番理想ではありますけど「使って速く綺麗にできるんだったら使ってもいいよ」とは言っています。グッズを自分で作っている人もいますね。物差しの大きさとか太さとか、それぞれ皆さん拘りがあってマイグッズが増えていますね。

菊池：ちえの輪池田さんの一日の仕事のペースはどうですか？

田井中：足の踏み場がないぐらい「うわっ〜」って忙しい日もあれば、ゆっくりしている日もあるって感じです。それは取引先との納品日の兼ね合いもあって。利用者さんにも負担はかけているんですけど「同じペースですずっとやっている事だけが仕事じゃないんだよ」「納品日も守らないといけないんだよ」と仕事上のルールとして説明して分かってもらった上で協力していただいているって感じですね。

菊池：ちゃんと理解してもらっているんですね。

田井中：はい。すごく利用者さんの意識も出てきてくれて「これ、いつ納品なん？」「じゃあ、ペース上げなやばいなあ」って言って下さるので。それも一つ大事かなって思っているんで。

菊池：みんな自発的に、期限がここまでだったら頑張らなって感じになっているんだ。

井窪：自然となっています。

田井中：ひとつの新しい作業が始まる時に「総数何件、納品日はいつですので頑張らしましょう」と声かけもさせてもらっていますので、それで皆さん考えて下さるんでしょうね。自分なりに考えて「じゃあ、このペースでやっていたらまずいんじゃないの?」とか「一日にどんだけ仕上げなあかんあ」って考えて下さって。そういうので先陣をきって下さる方がいらっしゃるの、自然と周りの方もそういう意識になっているっていうのもありますね。

「行動範囲が広がった！」

菊池：あと、井窪さんの今後の目標はありますか？

井窪：室内の仕事もあるけど、外の仕事もできるようになりたい。昨日の尼崎のチラシ配りみたいに。

菊池：チラシは道行く人に配るんですか？

田井中：そうですね、通りがかった方に。うちでやっているガラスコーティングの事業があるんです。スマートフォンとかのガラスをコーティングするんですけど、そこで週3～4回催事をやっていて。そこに出向いて支援員と一緒にチラシ配りをやってもらっているんです。それに井窪さんから「行きたい」って手を挙げてもらったので、初めて行ってもらったんですけど、戸惑いながらもできていたみたいなんです。

井窪：最初は説明不足で「スマホのコーティングやっています」しか言ってなったけど、一緒にやっていた利用者さんに指摘を受けてガラスコーティングの説明も含めながら、指摘を受けた後はやっていけました。

田井中：ひとつひとつ、ちょっとずつでも良いので前進していただけたらいいなと思って。井窪さんはすごく意欲的なので、外の仕事やりたいてって言って下さるので行けるものには是非行っていただきたいと思っています。

菊池：井窪さんから話を聞いていると「苦手だけど外の仕事をやって挑戦したい」とすごく前向きなので。苦手なものを自分から挑戦するのってすごいなと。

田井中：最初から「苦手やから無理、もう行きたくない」という人が多い中で彼はすごく前向きなので私たちもすごく買っていて。

菊池：自分のできることの幅をもっと広げたいという欲があるのかな？

井窪：そうです。あと、ちえの輪に入ってから行動範囲が広がった。

菊池：行動範囲？

井窪：うん、プライベートでも仕事でも。

田井中：電車に乗ってどこかに
行ったりして、行動範囲が広がっ
たってこと？

井窪：そうですね。

田井中：仕事では、基本自分で
電車に乗って移動になるので。

菊池：外での仕事があった時は
現地集合で、自分で来てもらう
のですか？



しんけん ひょうじょう お いくぼ
真剣な表情でキャラメル折りをする井窪さん

田井中：そうです。ポスティング

で一日みんなで移動しますよっていう時は事業所集合だったり、駅で集合してみんなで
車に乗って移動とかもあるんですけど、基本ご自分で移動できる方に行ってもらっている
ので。

井窪：初日は他の利用者さんで行ったりはするけど、二日目ぐらいからは自分で行きま
した。

田井中：不安なところは地図とかお渡ししたりしますし。

井窪：昨日は 1 人で GoogleMap で調べて。

田井中：Google なかったら不安やな（笑）。

井窪：尼崎の駅までは分かっていたんですよ。駅を降りてからの道を Google で調べて。

菊池：それで、プライベートでも行動範囲が広がったと？

井窪：色んなところへ移動するキッカケができてから広がった。

田井中：それはいいことやね。知らないところに行く機会が増えて、恐怖心が徐々に薄
れてきたのかもしれないね。

「今の自分に何が足りないか」

井窪：あと、ちえの輪に入ってから、以前と比べて生活環境が変わった。以前は大人じゃ
なかったから…。

菊池：変わったもんね（笑）！前はもっとダラダラして子供だなあみたいなのはあっ
たけど、ちえの輪さんに入ってから責任感も強くなってきたしね。

田井中：ここにいらっしゃる方は、皆さんしっかりして自立していて。その周りの方の
影響もすごく強くあるんじゃないかなと思いますね。

菊池：他に働いている方も自立心が高いというか…。

田井中：そうですね。やっぱり、一般企業の就職を目指している人が多いので、そういっ
た方の影響はすごくあると思います。仕事に対しての意識がすごく高いですね。

ずっとここに居続けようという気持ちでは皆さんいらっしゃらないです。

菊池：上を目指している人が多いから、井窪さんも影響受けてるって感じかな？

井窪：う～ん。

菊池：えっ？そこまでではない感じ（笑）？

井窪：けど、ハローワークのアプリをインストールしてみたりとかしてますよ。

菊池：一般就労に向けて？

井窪：はい。「どんな仕事あるかな？」って。

田井中：そうやって興味持つだけでも大きいよね。

井窪：そしたら「今の自分に何が足りないか」というのが分かって見えてくるから。

田井中：凄い名言が出ましたよお！今日一番の収穫やわ！

井窪：ははは！（笑）

菊池：でも、僕らも「そうやな」って思わせられる言葉やなあ。毎日同じ仕事をしていると、ちょっと惰性になってしまうところもあるから。上を目指して新しい事や苦手な事に挑戦してみないと。

井窪：同じローテーションの仕事をしていると半分飽きてくるところもある。

菊池：どっかで違うことしてみようと意識してみたりとか？

井窪：たまに外に出る仕事をして気分を変えたり。

菊池：それを自分からやれるっていうのは凄い事やと思う。

井窪：昨日の尼崎の外の仕事は、行っている他の利用者さんから話を聞いて、それからでも遅くないかなと思って。

田井中：力仕事とかそういったものは凄く助かっているんですよ。結束っていう作業があるんです。冊子の束を十字結束するのが。それが、私たち支援員だけでは追い付かない事があって、それをやってもらうんですけど、一日やっても文句言わないんですよ。「もう嫌」とか「あ～疲れた」とか。

菊池：言う人もいるけど？

田井中：言いますよ！私でも言いたくなるぐらい（笑）！でも、井窪さんは一日こもりっきりでやっても愚痴一つ言わないので、そういう意味では本当にありがたいです。

井窪：ははは（笑）！

田井中：力仕事で車に乗って連れて行かれたりとかね。

菊池：そういうのもあるんだ（笑）。

井窪：納品場所まで行って運んでいます。

田井中：頼りにされて声がかかる。そういうのも凄く楽しいみたいで「行きま〜す」って言って下さるんで。体を動かしているほうが楽しいって。

井窪：一つ言ってもいい？放課後デイサービスに通っていたからか、後輩が来るたびに作業を教えるのが得意です。得意ってというか、席が違ってても一緒に班じゃなくても教えた意欲が抑えられなくなる。

菊池：教えたくなるんだ！

井窪：「教えたいっ！教えたいっ！」ってなる。

菊池：後輩がやっているのを見て、こうやったら上手くできるのになって思うの？

井窪：最初是一緒に二回ぐらいやって「一回やってみ」って一人でやってもらって、違ったら「こうやるねんで」ってもう一回教えています。一部の先輩にもアドバイスしています。

菊池：ちゃんと順序を考えて教えているんやね。

井窪：最初、何回か一緒にやって「覚えたかな？」って思った時に「一回自分でやってみ」って。無理やったらもう一回一緒にやって、もう一回一人でやってもらう。

菊池：それは放課後等デイサービスに通って、子供たちに色々教えていた経験があったから？

井窪：それもあるし、俺自身が子供大好きやから！

菊池：子供が好きというのもあるんだ。

井窪：あと、教えるのが得意。言い方を選ばないと相手の気を悪くしたらあかんから少し柔らかめに言ってみたり。ちょっとだけ間違っていたら怒鳴るまではいかないけど軽く注意するみたいな。

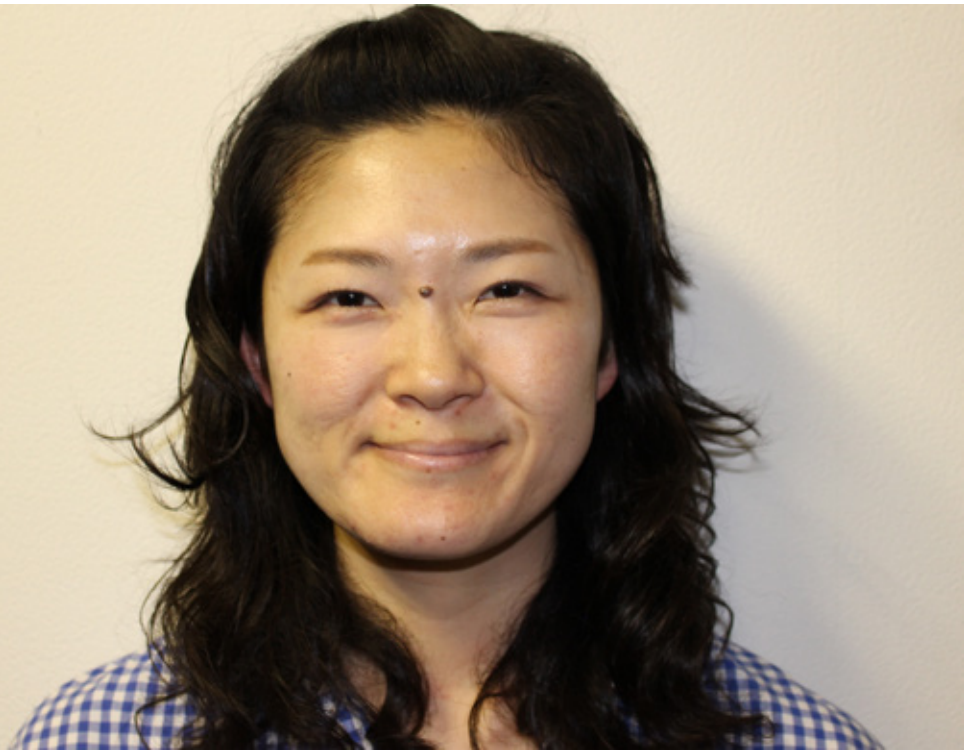
菊池：ゆくゆくはそういう事が活かせる仕事に就けたらいいね。以前は放課後デイの仕事をしたって言うていたけど、それは念頭にあるの？

井窪：あります。一応、放課後等デイサービスは探してはいます。

菊池：ちゃんと探しているんだ。希望が叶うといいですね！



搬出を手伝う井窪さん



マネージャーの岡田さん

Interview ②

(ちえの輪池田 マネージャー 岡田美保さん)

「一般就労を目標に」

菊池：利用者の皆さん、自発的に声を掛け合って働かれています、そうなるように意識してサポートしているところはあるですか？

岡田：毎回同じメンバーだと何も言わなくても動くようになってしまうので、毎日席を変えています。その方々で色々特性があるので、周りの方を見て出来るようになってほしいというのもある。その為に席を変えて色んな人と仕事をやって意識をもってもらうようにしています。

菊池：今年度の目標を「挑む」と掲げていますが、利用者さんが意識しているところは感じられますか？

岡田：「ダイレクトメール封入作業を一回も間違えないようにするんだ」とか「タオルを折るのでもきれいにきっちり速く折るんだ」という人もいらっしゃいますし「一般就労に向けて頑張るんだ」という方もいらっしゃいます。本当に人それぞれですね。

菊池：就労継続支援 A 型事業所として意識しているところはあるですか？

岡田：一般就労を目標に入ってきている人が大多数ですし、見ていても十分にその能力があると分かりますし、それに向けてモチベーションを保ってやってほしいなど。外のお仕事を挑戦してほしいとか、自主的に考えてやってほしいとか、意識して工夫しています。

菊池：一般就労の紹介みたいな事はしているのですか？

岡田：社内で就労アドバイザーというものが一名いて、就活に関する相談であるとかアドバイスであるとか、アドバイザーを通して企業さんとのやり取りや「こういう求人がありますよ」というご紹介なんかもしたりしますね。

菊池：ちえの輪さんから一般就労された利用者さんはどのようなお仕事に就かれましたか？

岡田：介護職や事務職や清掃であるとかですね。

菊池：一般就労された方の成果は聞きますか？

岡田：もちろん。最低でも半年は追いかけるというか、お仕事を継続されているかフォローします。フォローがなくても大丈夫な方でも「どうですか？」って連絡をとる事はありますね。

菊池：挫折をされる方もいらっしゃいますか？

岡田：いらっしゃいますね。

菊池：挫折をしたら、ちえの輪に戻って来られるのですか？

岡田：私の知っている限りでは、一般就労に行っても厳しかったなっていうのでお家でゆっくり体調を整えられる方がいらっしゃいました。

菊池：気持ちの面でダメージを受けることもあったのでしょうか？

岡田：環境が変わってしんどかったっていうのもあると思いますね。

「ここに慣れてしまっただけじゃないと思うんです」

菊池：井窪さんについてですが、生活の為に働いてお給料も貰わないといけないというのもあるんだけど、それだけじゃなくてちえの輪での仕事自体が楽しいという事を言われていて。

岡田：ありがたいですね。彼は「できない」とは絶対に言わないので、そこが凄いなと思うところですね。何でも「やりたい！やりたい！」でチャレンジしてくれるので（笑）。

菊池：経験ない事をするのって大変な事だと思うので、その一歩が難しかったりするけど、彼の場合はそこを挑戦するという。

岡田：もちろん失敗した事はあるんですけど、めげないですね。

菊池：苦手なことも克服したがるというか…。

岡田：そうですね。悔しそうに「もう一回やります」って言って（笑）！

菊池：井窪さんの他の方とのコミュニケーションとか、一緒にいる雰囲気とかはどうでしょうか？

岡田：明るい方なので、自分から積極的に話しかけられますね。

菊池：井窪さんも以前の職場に比べると職場の雰囲気が良く、みんなと喋りやすいという事を言

っていて。それが、今の仕事が続いている要因の一つでもあるみたいなので、ちえの輪池田さんの環境が本当に彼にピッタリ合ったのだと思います。

岡田：ありがとうございます（笑）。

菊池：障害を持っている人とか関係なく、職場の環境って大きかったりするのでしょうかね。

岡田：だけど、ここが楽しすぎて、ここに慣れてしまっただけではいけないと思うんですよ。もっと目指すものが先にあると思うので。そこは、ここでいいとならずにモチベーションをあげて行って欲しいなというのがあります。この前「就職の事、どうですか？」と井窪さんに聞いてみましたが、彼はそのへんも考えてくれているみたいなので。ここでいいやとは思ってほしくないですね。

菊池：そうですね。本人も一般就労を目指してやっているとは言っていました。「先を目指さないと自分の限界が見えない」みたいな事も言っていたので、向上心はすごくあるのかなあと思いますね。

岡田：まだ若いですしね！

「福祉と就労の両立」

菊池：岡田さん自身が今の仕事に関わって、何か思われるところはありますか？

岡田：え～、それはもちろん色々あります（笑）。真っ先に思い浮かぶのは、この仕事は難しいという事は日々思います。福祉と就労の両立ってすごく難しくって、障害があるからと思って利用者さんに優しくして「いいよ、いいよ」って言っていると一般就労に行く力を失うと思うんです。そこのバランスが難しいというのと、むしろ私たち支援員のほうが学ばせてもらっていると思って毎日やっています。

菊池：ちなみにこのお仕事は長いのですか？

岡田：私はこの仕事をしてもうすぐ2年です。まだまだです（笑）。

菊池：それ以前は何を？

岡田：それ以前は、病院のほうで事務とか助手をやっていました。障害のある方とは関わりがなかったので。どちらかという和高齢の方との関わりが多かったです。

菊池：それが今の仕事に就くキッカケというのはあったのですか？

岡田：それはあまり実のあるお話ではないというか色々なご縁があって、気が付いたら（笑）！

菊池：気が付いたら（笑）！

岡田：気が付いたら、2年近く経っていたという（笑）！

菊池: そうなんですね (笑)。それまでは、障害を持たれた方との関わりはなかったという。

岡田: 病院ですので、障害を持たれた方もいらっしゃいましたが、ここみたいに深く関わる事もなかったですし、自分自身が障害を持たれた方と仕事をするとは思いませんでした。いつの間にか 2 年も経ったと思いますけど (笑)。

菊池: 2 年ということは池田が出来てからになるんですか?

岡田: 池田が立ち上がる一ヶ月か二ヶ月前ぐらいに入社しまして、立ち上げと同時に池田に配属になりましたね。

菊池: さきほど、福祉と就労の両立の難しさを言われていましたが、障害者の生活の部分は色々なサービスが考えられてきてるけど、就労というのはまだまだ遅れているのかなという気がして。

岡田: ようやく法定雇用率が引き上げになるとか、一般の企業さんもちよっとは意識されているのかなというところはあるけれど、それも差はありますよね。

菊池: 障害のある人と健常者とが一緒に働ける場が増えればと思いますね。

岡田: 毎日、障害者の方と接していても、ちょっとだけ配慮すれば能力が十分高くてバリバリお仕事できる方もいらっしゃって。だから、一般就労された後も私たちが「ここはこうしてくれたら落ち込まずにお仕事できます」とフォローもして、続けていていただけたらと思います。本当にちょっとした支援があれば、一般でお仕事できる方がいっぱいいらっしゃると思うので。

菊池: 私から見ても、一つの事に関しては「私より能力高い!」っていう方がいらっしゃって (笑) !

岡田: 分かります (笑) ! なんか自分が情けなくなる時がありまして… (笑)。

菊池: ピタッとハマれば全然やっていけるんじゃないかと。

岡田: そうですね。何かの仕事に集中してするのが凄く得意なので、働けないという事はないと思うので。

菊池: そう言えば、箕面でも就労継続支援 A 型って一つしかなくて、やっぱり少ないと思うんですよね。B 型はまだ多いと思うけど。A 型でやっていく難しさもあるから増えにくいっていうのもあると思うけど。今回、取材をさせていただいて、こんなに前向きに仕事に向き合っている方達を目の当たりにすると、A 型がもっと増えていいと思いますし。その為にも、今やっている A 型の事業所さんに頑張ってもらいたいなあと (笑)。

岡田: はい、ありがとうございます (笑) !

取材協力: 就労支援事業所 ちえの輪 池田

写真・インタビュー: 菊池康治



○事業所紹介 ちえの輪 池田

株式会社ジャスト・トレンドが運営する就労支援事業所で、池田以外に中崎町、西天満、石橋、塚口にもあります。池田の利用者は24名で、対象は身体、精神、知的、難病の方。主な仕事内容はダイレクトメールの封入とタオル折りです。

障がいを持った方が社会的に自立するためには、自らの能力を発見して伸ばしていく時間が必要です。

わたしたちは、その能力をひきだし、伸ばしていくためのサポートを行います。ひとりひとりの個性や障がいの程度に合わせて、障がいを乗り越え、就職を実現するための「知恵」を探ります。

また、障がいを持った方にも、わたしたちの施設をより良い環境にしていくための「知恵」を出してもらいます。

「知恵」と「知恵」が重なり合い、輪のように連なっていくなかで、「はたらくことへの喜び」と「仲間の大切さ」を感じられる環境をつくりたいと考えています。

※株式会社ジャスト・トレンド HP から抜粋

〒563-0056 大阪府池田市栄町5-5 イオ池田1階

TEL: 072-734-8761 FAX: 072-734-8762

地域交流センターさんかくひろば 「第2回わくわく体験イベント」開催！



5月20日、好天に恵まれた春の日曜日、地域交流センターさんかくひろば主催の「第2回わくわく体験イベント」が開催されました。当日はさんかくひろば利用者のみならず卒業生やそのご家族、そして地域の方等、会場を埋めつくすほどたくさんの方々にお越し頂き、会場全体が終日歓声に包まれました。

会場前では「フランクフルト」販売と「スーパーボールすくい」ゲームを実施。「ボール釣り」は取ったボール数に応じて商品がもらえる方式で、希望者が殺到し列をなしていました。中には希望の商品ゲットをめざして2度3度チャレンジするちびっ子も有り。



会場内では「ミサンガ作り」と「レジンアクセサリー作り」、そして「たこ焼き作り体験」のコーナーもあり、多くの参加者（ほとんどはちびっ子）で賑わっていました。さすが、今はやりのレジンアクセサリー、皆さん慣れた手つきで次々に綺麗な作品を仕上げていきました。そして、織機を使ってのミサンガ作りは、デジタル世代の子ども達には貴重かつ新鮮な体験となった様で、列が途切れることがほとんどありませんでした。完成したミサンガを早速手に巻いて微笑んでいる姿がとても印象的でした。

たこ焼き作り体験も好評！さすが、関西人、たこ焼き担当スタッフのアドバイスに沿って作ったたこ焼きは

どれも綺麗でおいしそう！将来のたこ焼き屋開業が期待できそうです。

また、午前中には「ジャズコンサート」もあり。定番曲以外にアニメの曲もあり、大人のみならず、子どもも含めて参加者全員がジャズの音色に聞き入っていました。

他にも、会場で販売しているフランクフルトやたこ焼き、お菓子、飲み物を手にして楽しく談笑している参加者も数多くいました。ゲームや体験イベントを楽しむだけでなく、それらを通じ「さんかくひろば」が拠点となり「地域住民相互の交流」が進んだ一日だったと実感、それはまさに「主催者の願い」そのもの！今後もこういった意義深いイベントを続けていきたいと思います。当日ご参加の皆さん、ありがとうございました。そして、今回参加できなかったみなさん、次回開催を乞うご期待！

ふくなが えいじ
(福永 英司)

第 7 回「ミント・アンサンブル展」開催！



5 月 1 5 日～1 9 日まで箕面市メープルホールロビーにて毎年恒例の「ミント・アンサンブル展」が開催されました（今回で第 7 回目）。出品総数は 2 9 点、どれも力作ばかりで、ロビーを訪れた人々の興味と関心を引いていました。

主に毎月第 4 土曜日に開催 / 集合し、グループに分かれて絵画の創作を楽しんでいます（自主制作グループは「楽しむ」というより「一心不乱に集中して作成」といった感じ）。

今回の「展示会」ではそんな「ミント・アンサンブル展」参加者の 2 0 1 7 年度創作作品の中でも「本人お気に入りの一点」を展示！個性豊かな色彩と筆遣いの絵画はどれも一見の価値あり！来場して頂いた皆様も時間を忘れて鑑賞している様子でした。

今では、毎年この時期恒例の風物詩ともなっている「ミントアンサンブル展示会」。創作者にとっても、「自分の力作」を世に示す絶好の機会であり、来場者の賞賛は「自らの人生の自信 / やり甲斐」にも繋がります。

来年の「ミント・アンサンブル展」にはどんな大作が登場するのか今から楽しみです。

（福永 英司）





募集締切
7/21
土

あなたの手で、
世界が広がる。

誰もが当たり前に分らしく暮らせるように

大阪府指定番号11号 箕面市後援

重度訪問介護従業者 養成研修講座

8/4 土・8/5 日・8/11 土・8/12 日 予備日 8/19 日

わたしたちは、障害のある
さまざまな人びとを
支援しています。

いろいろな人びとがあたりまえに地域社会で暮らしていけるように、ともに暮らす仲間として、支える手を必要とする人々がいます。『何気ない日常生活』を支えて彼らの世界を広げることで、あなた自身の世界も広げてみませんか？

- ➡ 開講日 8月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)
※予備日8月19日(日)
- ➡ 会場 箕面文化・交流センター 地下1階多目的室
- ➡ 受講料 18,000円(受講料貸付制度あり)
- ➡ 募集定員 12名(申込み多数の場合抽選)
- ➡ 募集締切 7月21日(土)必着
- ➡ 受講対象者 ①障害のある人の暮らしに関心があり、介助者として携わってみたいと思っている人
②全課程を受講可能な方(高校生可)

主催・お問合せ



NPO法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

Tel: 072-723-3342 Fax: 072-723-6506

重度訪問介護従業者とは

長時間介護を必要とする障害者に対して、介助や社会参加の支援を行うための資格です。本講座は、重度訪問介護業務全般の知識・技術を身につけるものです。

全身性のガイドヘルパー資格もついでにきます

※ヘルパー1級・2級・3級、介護職員初任者研修課程、日常生活支援養成研修課程修了者、または介護福祉士、看護師資格所持者は本講座を受講せず活動できます。



研修スケジュール

会場 箕面文化・交流センター 地下多目的室(みのおサンプラザ1号館)

阪急電車箕面線
箕面駅下車徒歩2分

8 / 4 土

9:20～ 9:35 受付
9:35～ 9:50 開講式・オリエンテーション
9:50～10:50 介護概論
11:00～12:00 重度訪問介護の制度とサービス
12:40～14:40 コミュニケーション技術
14:50～15:50 重度訪問介護利用者の理解
16:00～18:00 人権啓発に関する基礎知識
(休憩12:00～12:40)

8 / 5 日

9:30～16:00 介護技術入門
(途中休憩あり)
①食事の介助
②抱きかかえ方及び移乗の方法
③車いすの移動介助
④生活行為の介助
16:00～18:00 緊急時の対応及び危険防止

8 / 11 土

10:00～13:00 外出介護実習
13:50～17:50 医療的ケアを必要とする重度訪問
介護利用者の障害及び支援

8 / 12 日

9:00～17:00 重度肢体不自由者介護サービス提供
(途中休憩あり) 現場実習、コミュニケーション実習
17:00～ 修了式、交流会

予備日 8/19 日

講師紹介

梅花女子大学
口腔保健学科
綾部貴子先生



箕面市障害者の
生活と労働
推進協議会
丸橋舜太郎さん



箕面市障害者の
生活と労働
推進協議会
安東由紀子さん



ご利用者様
今井雅子さん



ご利用者様
高田浩志さん



NPO法人
日常生活支援
ネットワーク
パーティ・パーティ
椎名保友さん



医療的ケア連絡協議会の皆さま



お申込み方法

☆研修修了者は、大阪府の管理する
修了者台帳に記載されます。

☆提供された個人情報は、その目的
以外に使用致しません。

メール・FAX・往復はがきのいずれかで、以下の事項を明記してお申込みください。

①氏名(ふりがな)、②生年月日、③性別、④勤務先、⑤連絡先(電話番号と住所)、⑥応募動機
ホームページ応募フォーム(<https://www.suisinkyo.com/entry>)からもご応募出来ます。

【送り先】

〒562-0001 箕面市箕面4-8-30
NPO法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会
重度訪問介護従業者養成研修係
E-mail: JDW07270@nifty.com
FAX: 072-723-6506

応募フォーム



推進協HP



NPO法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

当法人は、障害者が当たり前に暮らせる社会を目指して90年代に民間団体として設立されました。「いろいろな人びとがあたりまえに地域社会で暮らしていけるように」そんな思いを胸に日々活動を行っています。ヘルパー派遣・グループホーム運営・地域交流センター・相談支援、そのほかにもさまざまな形態のサービスや方法で支援を行っています。

Tel: 072-723-3342

Fax: 072-723-6506

E-mail: JDW07270@nifty.com(担当:安東)

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4-8-30

<https://www.suisinkyo.com/>

パンのみみ



その 33 ～ バス物語り (中編) ～

先回のコラムで、箕面市内全てのバスが車いすで乗車可能になったことを知り、うれしくて舞い上がり早速乗って見たら、不快体験にみまわれた、というところまでお伝えした。内容は、車内の無線で「車イスが乗ったから交代遅れる!」と大きな声で繰り返されたり、何時に帰るか執拗に尋ねられたり、事前に乗車連絡してもらわないと困る、というニュアンスで迫られたというもの。

この路線は確かに乗客が多く、みんな急かされてる感が強い。運転士さんにも何らかのプレッシャーが掛かっているのかもしれない。けれど、この体験を自分の中だけで留めておいたら、だんだん負担が大きくなって「もう乗らない!」という決断をさせられてしまいそうだった。それでは意味がない。何十年もかかって訴えてきたバリアフリーな街づくりが、“市内であればいつでもバスに乗れる!!”ところまで辿りついたのに、人の対応によってこんなにバリアフルなものにされるのは本末転倒。勿体なさすぎる、と引っかけが消えなかったので、ある作戦に出してみた。

それは「こんな嫌なことありました～」と市役所に相談に行くこと。阪急バス会社という大きな組織に 1 人物申したとしても、1 クレーマーとしてササッと処理されるだけで相手にしてもらえないと考えたからだ。車イスの乗客という分類で、余計軽くあしらわれる気もした。行政機関に間に入ってもらうことで、ちゃんと議論が成立するのではないかと期待して。

2016 年差別解消法が施行されてから、自治体に差別対応窓口が設置されるようになった。箕面市も同様に、障害者の差別の解消に関する相談を受け付けており、障害者、ご家族、支援者、そのほかどなたでも相談できると示されている。そして、窓口は障害福祉課、人権施策課、どの担当課でも対応することになっている。かねてより、わたしたちが陥るリアルな状況を、障害福祉以外でも感じていてもらいたいと考えていたので、人権施策課に相談に行くことにした。

また、市内であげられた相談件数は初年度でわずか 12 件、H29 年度はまだ公表されていないが更に件数が減っていているという。なぜなんだろう、!? 相談に行くまでのハードルが高いのか、相談したけれど納得がいく回答が得られなかったのか、他にも負担になることがあるのか。自分の問題として経験してみて、分析してみたくなった。せっかくスタートした差別解消法、この法律が色々な対話を生み出すキッカケをつくってくれるのに、このままでは宝の持ちぐされになってしまう。

人権政策課につくと、受付の女性が少しえらいさん風の人を呼んでくる。こちらはできるだけ詳細な情報、何時にどこ行きのバスでどんな対応があったのかをお伝えし、その担当者の方は神妙に確認しながらメモをとっておられた。帰ってしばらくすると担当者から電話があり、バスのことは交通政策課になるので原課から回答させる、というお話だった。やれることはやった、あとは待つのみ。でもやっぱりエネルギーいるなあ、と少し疲れた。(今井 ^{まさこ} 雅子)

カエルのうた

其の 20 ～車イスの違い



以前作った車イスが壊れたので、今はレンタルを使っている。作ったものとレンタルでは、色んなところで違いが出る。

まず私にとって一番大きいのは、レンタルにしてからタクシーに乗れなくなったことだ。以前は車イスを小さめに作っていたから、トランクに積んで乗ることが出来た。しかし、レンタルはかなり大きいので、トランクに積みなくなってしまった。だから時間が遅くなって最終電車に乗り遅れたら、家に帰れない。この間もぎりぎり最終電車に飛び乗って帰ったことがある。本当に危ういところだった。

それだけじゃない。今までは電車で行くのが不便な所はタクシーで行けたのに、行けなくなってしまった。それにレンタルは性能的にもかなりの差があって、濡れた坂道を通ると滑って操作が出来なくなる時がある。濡れていなくても坂道は思った通りに動かない。思わぬ方向に動いてぶつかりそうになる。止めようとしてもピタっとは止まらずに、かなり進んでから止まる。車イスが止まらずにフットレストが人のアキレス腱にでも当たってしまったら、大怪我をさせてしまうかも知れない。

一方、性能的にかなりの問題はあるが、レンタルにはレンタルなりの利点もある。作った車イスは故障すれば全て自費で修理しないといけませんが、レンタルは故障しても業者が修理してくれる。レンタル料はひと月三千数百円かかるが、自費で作った時は本体価格が 50 万円ぐらいで修理代もかなり払っていた。だから金額的にはレンタルが圧倒的に安い。もし潰れてしまっても他の車イスと取り替えてくれる。これで性能が伴えば言うことないのだが。

作ったもの、レンタルにかかわらず電動車イスには弱点がある。バッテリーの使用可能時間が条件によってかなり違うが、平坦な道で 2 時間半ぐらい。上り坂を通るとかなり時間が短くなる。気温の低い時もかなり使用可能時間が短くなる。だから夏と冬では全然違う。

それに浜辺など砂地の所は、タイヤが砂にうずまって全然動けなくなる。だから波打ち際には近づくことが出来ない。アスファルトで舗装した道路でも、浜辺近くで砂が散らばっていると滑って操作出来ない。

人が宇宙に行ける時代。その技術を車イスにも少しは向けて欲しいと切に願う。

大袈裟かな。

(武藤 ^{よしかず} 芳和)



当法人の応援をお願いします！【会員募集】

当法人「箕面市障害者の生活と労働推進協議会」(略して推進協)は「障害者市民の権利および自立生活の促進」を理念に掲げ、活動しています。**当法人を応援してくださる会員を募集しています！**

現在、当法人では主に下記の活動を行っています。



ヘルパー派遣事業

地域で自立生活を営む障害のある方々に向けたヘルパー派遣を行っています。「居宅介護」や「重度訪問介護」などの在宅支援、障害の特性にあわせた「同行援護」「移動支援」などのガイド支援を行っています。



グループホーム事業

障害者市民の自立生活の一つとしてグループホームを市内で運営し、地域生活を支援しています。入居者の自主性を大切にし、その人の個性をよく見てできることは自分でしてもらい、できないことは少しずつできるように世話人が支援をしています。



地域交流センター事業

放課後、長期休暇中の活動保障として障害がある子どもや地域周辺の子どもたち、および市民が交流する場「さんかくひろば」を運営しています。また、保護者等に対する相談も行っています。



相談支援事業

障害者市民の自立生活への援助・アドバイス・情報提供を目的として、きめ細かい相談業務を行います。また、より多くの市民と共に将来の施策のあり方について検討を行います。



その他の幅広い活動

当法人独自の事業として移動困難者の支援を行う送迎サービス、当広報誌『ファーストラン!』の刊行、ヘルパー養成の研修やアートサークルの運営なども行っています。

今後も障害のある方々にとって暮らしやすい社会づくりにむけた活動を継続していきます。より一層のご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。つきましては、**一人でも多くの皆さまに、当法人理念および活動方針の賛同者であり応援者でもある「会員」になっていただき、当法人の活動を応援していただければと願っています。**



■ご入会について■

入会希望の方はご一報ください。入会申込書を送付いたします。会員の種別は下記の 3 種類となっています。

団体会員	年会費	： 1 口	10,000 円
個人正会員	年会費	： 1 口	2,000 円
個人賛助会員	年会費	： 1 口	1,000 円

※団体会員・個人正会員は年に 1 回開催される総会に参加でき、議決権があります。個人賛助会員に議決権はありません。

また、団体会員と個人正会員の議決権は 1 つで、口数には比例しません。

(口数が増えても議決権は増えません)。

当法人公式サイトからお申し込みいただけます！下記のページにアクセスしていただき、画面の案内にそって必要事項を入力のうえ、お申し込みください。

<http://www.suisinkyō.com/members>

■お問い合わせ先■

072 - 723 - 3342 (会員担当：木下)

みなさん、推進協の応援団、会員になってください！お願いします！

当法人について

当法人は箕面市内で様々な活動を行っています。

ご依頼・ご相談は電話・FAX・Email・公式サイトよりお問い合わせのうえ、各事務所へお越しください。



編集／特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号 電話：072-723-3342 FAX：072-723-6506

Email：JDW07270@nifty.com 郵便振替：00990-4-116066 公式ウェブサイト：<http://www.suisinkyo.com>

発行人／関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4階